

【中学校】第2学年・数学「1次関数」

ねらい：二つの1次関数のグラフの交点の座標と連立方程式の解との関係を理解し、グラフや式を使って2直線の交点の座標を求めることができる。

活用のポイント

- ・グラフ作成ツールを活用して、方程式をグラフに表すことで、二つの1次関数のグラフの交点が連立方程式の解であることを視覚的に捉えることができる。



出典：数研出版 グラフ作成ツール

機能：学習者用デジタル教科書デジタル教材（グラフ作成ツール）、大型提示装置による表示

■学習活動例（太字がデジタル教科書の主な活用場面）

ねらい・期待される効果等

	活動内容	学習者用デジタル教科書の活用例等
導入	<p>一斉 課題の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時の学習内容と本時の課題を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大型提示装置にデジタル教科書の画像を表示し、前時の学習内容を振り返らせる。 <p>前時までの学習内容を想起し、本時の課題を捉えやすくすることで、学習意欲の喚起につながる。（教師）</p>
	<p>課題 2直線の交点の座標は、どのように求めることができるか考えよう。</p>	
展開	<p>個別 問題の解決</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題を確認し、取り組む。 <p><問題> 次の1次関数のグラフをかき、2直線交点の座標を求めよう。 ① $y = x - 4$ ② $y = -2x + 1$</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習者用デジタル教科書のグラフ作成ツールで、グラフを作成し、2直線の交点を見付ける。 <p>傾きと切片を入力すると、簡単にグラフが作成できる。交点の座標を正確に読み取ることができないときは、座標は分数になるといった見直しをもったり、画面上に交点が見えない場合でもスクロールすることで交点を確認したりすることができる。（生徒）</p>
	<p>グループ 考えの共有</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループで互いの考えを共有する。 	
まとめ	<p>全体 本時のまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2直線の交点の座標の求め方をまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表者の画面を大型提示装置に投影し、説明したり質問し合ったりする。 <p>学級全体で考えを共有し、交点の座標の求め方を確認することができる。（生徒）</p>
	<p>個別・一斉 自力解決</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適用問題に取り組む。 	
	<p>個別 振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題について振り返りをする。 	